



Covid-19 パンデミックはセネガルにも影響を及ぼしています。2020年3月2日の最初の症例を皮切りに感染は拡大し、現在15,000を超える感染が確認されています。これに対して、セネガル政府は3月下旬に緊急事態宣言を発令しました。

プロジェクトは当初予定では2020年9月に終了することになっていましたが、この状況では活動を行うことができず、期間内のプロジェクト目標の達成が難しくなったため、2021年6月まで延長することで、セネガル側も日本側も合意しました。

### Covid-19 に対するドレール CMU プロジェクトの支援

Covid-19 対策支援のために、プロジェクトは、医療保障庁（ANACMU）と保健共済組合（MS）組織に対し、感染予防資材を寄付しました。ANACMUには、1000箱の外科用マスクを供与し、プロジェクト対象3州の保健共済組合州連合（URMS）、保健共済組合県連合（UDMS）、各MSには、布製マスク、消毒液、足踏み式手洗い器、透明保護スクリーンを供与しました。

これらの物的支援に加えて、プロジェクトは、2020年8月から9月にかけて、対象3州（ジュベル州、タンバクンダ州、ティエス州）において感染予防策を啓発する活動としてローカルラジオでのスポット放送を支援しまし

集会禁止や都市間の移動制限など、活動に制限が加わる中、プロジェクトチームはフィールド活動を必要としない別の活動方法を模索しました。その中には、遠隔でのMSのモニタリング、研修ツールの作成が含まれます（詳細は後述）。

その後、7月以降、政府による規制措置緩和に伴い、ドレール CMU プロジェクトは、十分な感染予防策に留意しながら、フィールド活動や研修、ワークショップを慎重に再開しています。

た。対象住民が理解しやすいよう、現地の言語を使用して、毎日放送されました。



COVID-19 感染予防対策のための支援物資  
供与セレモニー

医療保障庁（CMU 庁）職員、保健共済組合職員、医療機関の能力強化

医療保障庁主催 MS 管理基準書策定にかかるワークショップ開催支援



MS 管理基準書策定にかかるワークショップ

ANACMU は、Covid-19 対策措置の緩和に伴い徐々に活動を再開し、2020年7月にMS管理基準書策定ワークショップを開催することになりました。プロジェクトは感染防止対策を充分に行うことを条件に、本ワークショップの開催支援しました。

GESTAM 研修

医療保障（CMU）情報統合管理システム（SIGICMU）のコンポーネントの一つである、保険事務システム（GESTAM）は、保健共済組合の受益者管理および財務・会計管理のための電子化されたシステムです。ANACMU の情報システム局（DSI）によって開発され、検証フェーズ、パイロットフェーズ、広域フェーズという3ステップで全国展開される予定です。パイロットフェーズにはプロジェクト対象である69MSを含む、150MSが選定されました。

MS 対象の研修を実施する前に、プロジェクトの対象3州に対して7月に講師養成研修が実施されました。SR、URMS 代表、UDMS 代表・技術支援担当（UTG）が参加し、講師の育成と同時に、MS 参加者のITリテラシー等を考慮した研修モジュールへ改良し、研修日程を決定しました。

この講師養成研修を経て、8月にMS向け研修を実施しました。ジュールベル州に関しては、プロジェクト対象県外であるバンベイ県とジュールベル県のパイロットMSも招集し、ジュールベル州3セッション、クンペントウム県1セッション、ンボール県2セッションの合計6セッション開催されました。

改良されたモジュールはわかりやすく、演習問題として実際

MS 制度の全国調査の結果、2017年1月から2019年9月までに監査委員会を開催したMSは1/4以下でした。この主な要因として、監査に関する基準書が存在しないことや、総務、技術、財務分野それぞれで使用するツール（記録台帳）に不備があることが指摘されました。。これを受けて、MS 管理の基準書策定を目的としたワークショップが開催されました。最終化のワークショップには ANACMU 長官および本庁各部局幹部、州支部（SR）職員、保健共済組合代表、ドナーが参加しました。基準書策定に加え、運用レベルの改善として、MS に対する研修の実施、MS におけるグッドプラクティスの蓄積、全国レベルの承認医薬品リストを完成させることが提言としてまとめられました。

のデータを取り扱ったため、本研修を通して参加者にGESTAM の機能が周知されました。プロジェクトでは、研修フォローアップとして現地語（ウォロフ語）でチュートリアル動画を作成しています。



クンペントウム県でのGESTAM 研修



ンバケ県でのGESTAM 研修

表：ANACMU と MS を対象とした研修実績

研修テーマ	対象	日時	場所
MS 管理ガイドライン 策定ワークショップ	ANACMU 各部局長、Abt Associates*、GRAIM**	2020年7月06-10	ティエス
州レベル GESTAM 講師養成研修	SR, URMS, UTG & UDMS 代表 (グジリ、バケル、タンバクンダ、ク ンベントウム)	2020年7月16-18日	タンバクンダ
	SR, URMS, UTG & UDMS 代表 (ンバケ、ジュルベル、バンベイ)	2020年7月20-22日	ジュルベル
	SR, URMS, UTG & UDMS 代表 (ンブール、ティエス、ティバワン)	2020年7月23-25日	ティエス
MS 向け GESTAM 研修	ンバケ県 6MS、バンベイ県 2MS、ジュルベル県 4MS の担当者	2020年8月18-21日	ジュルベル
	ンバケ県 26MS の担当者	2020年8月18-21、 25-28日	ンバケ
	クンベントウム県 10MS の担当者	2020年8月25-28日	クンベントウム
	ンブール県 24MS の担当者	2020年9月15-18 日、22-25日	ンブール

\*USAID 系の NGO \*\*セネガル国 NGO

## MS の機能に関連するトレーニングツールの開発

当初計画していた研修に加えて、プロジェクトは、関係者と協働で研修フォローアップのためのツールを作成しました。

### ➤ MS ハンドブック、モニタリングノート

MS の運営・管理能力強化を目的として、プロジェクトは業務内容を簡易にまとめたハンドブックを作成しました。昨年  
から作成を開始し、2020年2月から3月にかけて対象  
3 県の MS にパイロット版を配布し試用してもらい、使い勝  
手についてフィードバックを収集しました。4 月以降、収集さ  
れた意見に基づいて改訂を行い、最新バージョンは、  
ANACMU に承認されました。

### ➤ GESTAM/GAFC のチュートリアル動画制作

MS の事務・財務・会計管理 (GAFC) 手順の複雑さを  
考慮して、プロジェクトは簡略化されたツールとして、現地  
語である Wolof 語のチュートリアル動画を制作しました。  
事業局 (DO) と SR の監修の下、合計 10 本の動画  
が完成しました。ビデオは 2020年5月に対象 3 県の MS  
へ配布され、同時に ANACMU が管理する YouTube  
チャンネルで公開され、全国の MS が閲覧できます。

他にも GESTAM アプリケーションの使用に関する動画を作  
成しています。この動画も 10 本におよび現地語のウオロフ  
語で作成します。

## コミュニケーション活動

### 家族保障給付金 (BSF) 受給者と機会均等カード (CEC) 保有者の加入促進オリエンテーション

ンバケ県は、2020年に24,098人のBSF受給者と623  
人の CEC 保有者を MS に加入登録するという目標を掲  
げていました。しかし、BSF 受給者および CEC 保有者は  
無料加入の対象でありながら、対象者の特定プロセスに  
様々な問題が生じ、加入登録が進んでいませんでした。

ジュルベル SR は、社会保障国民連帯国家委員会  
(DGPSN) と協力し、2020年8月13日にトゥーバで  
加入促進のオリエンテーションを開催することとしました。本  
オリエンテーションには、DGPSN コーディネーター、DGPSN  
が各地に配置するスーパーバイザー、保健社会活動省

(MSAS) 社会活動総局 (DGAS) 州支部等、マルチ  
セクターの関係者が集い、URMS、UDMS と、MS 加入の  
手順や役割分担について協議しました。参加者は手続き  
の一連の流れを理解し、その中で各自の役割を再認識  
することができました。そして、UDMS は BSF 受給者リスト  
をスーパーバイザーや関係者に共有し、CEC 保有者のリス  
トを DGAS 州支部と共有すること、MS は加入手続き促  
進のための活動計画をコミュニティ連絡員やスーパーバイ  
ザーと共有し、実施することがアクションプランとして合意  
されました。

表：BSF・CEC 加入促進オリエンテーション

研修テーマ	対象	日時	場所
BSF・CEC 加入促進オリエンテーション	DGPSN、社会活動局、UDMS、MS	2020年8月13日	トゥーバ

## 調査の実施

プロジェクトが終盤に差し掛かり、対象地域であるジュルベル、タンバクンダおよびティエス州で、健康保険システムのガバナンス、管理および運用能力の評価研究が行われています。この調査は、プロジェクトの開始時に実施されたインパクト評価ベースライン調査の結果と比較して、介入地域におけるプロジェクトの成果と影響を評価します。

本研究は、ANACMU、JICA、一橋大学によって実施されており、ジュルベル、タンバクンダ、ティエス州の全 MS（196 MS）と UDMS（10）を対象とし、8月の後半から9月中旬にかけて現地調査が実施されました。

この調査によって、コミュニティ健康保険の円滑な運営のために、MS および UDMS が必要な能力および技術に関する詳細な回答が得られると期待されています。



調査員研修

## DAFF 局長からの謝辞

ANACMU の長官であり Dooleel CMU プロジェクト・ダイレクターでもある DAFF 氏が、JICA の Covid-19 パンデミックへの緊急支援に対し感謝の意を表しました。

DAFF 長官は JICA の支援のおかげで、ANACMU 職員はコロナ感染のリスクから身を守り、業務を継続できると述べました。長官はまた、プロジェクト対象地域の MS の感染防止のために、布製マスク、手洗い装置、消毒液、透明な保護スクリーンなどが配布されたことは、コミュニティ健康保険全国連合（UNAMUSC）から示された MS の要望に対する迅速な対応となったとして、深謝しました。さらに、コミュニティラジオ放送で感染防止対策の啓発を呼びかけたことも、住民の健康に資する活動を行っている MS を活

性化するきっかけとなり、MS に対するコミュニティの信用を高めたと述べました。

DAFF 長官は、ANACMU や MS 関係者一同、この貴重な支援物資を有効に活用することを約束しました。



ANACMU へのサージカルマスクの供与

### プロジェクトダカール事務所

ダカール： Cité Keur Gorgui, Immeuble El Hadji Serigne Mérina Sylla -près du siège de la NSIA, au rez-de-chaussée, Dakar. (E-mail : [doleel.cmu@gmail.com](mailto:doleel.cmu@gmail.com))

### プロジェクト地方事務所

ティエス： Résidence Mandiaye SQUARE, 1<sup>er</sup> étage villa n°76 Quartier 10e RIAOME, en face de la préfecture, Thiès

ジュルベル： Rue Serigne Tacko Mbacké, Angle Avenue El Hadji Malick SY, Quartier Escalé, Diourbel

タンバクンダ： Quartier Quinzambougou de Tambacounda, en face du camp militaire de Mamadou Lamine DRAME